



林業退職金共済制度

林業退職金共済制度は、事業主の方々が従事者の働いた日数に応じて掛金となる共済証紙を共済手帳に貼り、その従事者が林業界をやめたときに林退共から退職金を支払うという退職金制度です。掛金の一部を国が免除し、雇用事業主が変わっても、退職金は企業間を通算して計算されます。

▼事業者の皆さんへ 共済証紙は労働日数に応じて適正に貼付し、共済手帳を所持している従事者が林業界を引退するときには、忘れずに退職金を請求するよう指導してください。

▼労働者の皆さんへ 以前、林業の仕事をされ、林退共制度に加入していた方で、退職金請求手続きをしていない方は退職金を受け取っていない可能性がありますので、お問い合わせください。

■ホームページQR ■問い合わせ 独立行政法人 勤労者退職金共済機構 林業退職金共済事業本部 03-6731-2889

宝くじの助成金で山北棒踊りの衣装や道具等を購入



宝くじの社会貢献広報事業として、宝くじの受託事業収入を財源として実施している「コミュニティ助成事業により、山北地区まちづくり協議会が「コミュニティ活動用品(山北棒踊り)活動用品整備事業」として、衣装・棒・黒革雪駄を購入し、太鼓張り替えを行いました。

このように活動用品を整備することにより、伝承が活発化され、「山北棒踊り」を通して住民相互のコミュニケーションの充実が図れ、地域間や世代間のつながりを深めることに役立てられます。

■問い合わせ 市教育委員会生涯学習課 ホームページQR

鳥インフルエンザの発生を防ぎましょう！

鳥インフルエンザの発生予防には、次のような対策をとりましょう。

- ①衛生管理区域に入る時は、専用の服やばき物を身に付けましょう。
②飼育施設やその周囲を清潔に保ちましょう。
③飼育施設には、野鳥や野生動物が侵入しないように金網やネット(2cm角目以下が目安)をかけましょう。
④飼育施設の入入口では専用の靴に履き替え、専用手袋を着用するか、アルコールスプレー等による手指の消毒を行います。消毒液は、薬局薬店等で市販されているもので十分に効果があります。

■問い合わせ 中央家畜保健衛生所 香長支所 052-3069 ■夜間・休日の問い合わせ 高知県庁(代表) 088-823-1111

火入れの許可について

火入れを行う際は、許可が必要ですが、田畑や畦畔などで「面的」に火入れを行う際には事前に市の許可が必要です。森林法第21条に基づき、本市では「香南市火入れに関する条例」を制定しています。

火入れを申請する方は、火入れを開始する7日前までに農林水産課に許可申請等を提出してください。面積や火入れ従事者数などの要件もありますので、火入れを計画する際は事前に相談ください。

■問い合わせ 市役所農林水産課 ■知っていますか？ 建退共制度 建退共制度は、建設現場で働く労働者のために「中小企業退職金共済法」という法律により国が作った退職金制度です。この制度は、事業主の方々が、建設現場で働く労働者の働いた日数に応じて掛金を充当し、その労働者が建設業界で働くことをやめたときに建退共から退職金を支払う、業界全体での退職金制度です。

- ②勤め先が変わっても、建退共加入している企業であれば、退職金を引き継ぐことができます。
③掛金の一部を国が助成
④掛金は法人では損金、個人では必要経費として扱われ、税法上全額非課税
⑤経営事項審査で加点評価の対象となります
⑥掛金は、インターネットを利用して電子的に納付することが可能
■電子申請方式で掛金納付をもっと便利に！ 電子申請方式では、共済証紙に代わる「退職金ポイント」を電子申請専用サイトで事前購入し、就労日数を登録することで、個々の被共済者に掛金を充当できます。また、共済手帳の新規申し込み等の手続きも、オンラインで行うことができます。
制度説明動画、Q&Aなど詳細は、ホームページをご覧ください。
■ホームページQR ■問い合わせ 建設業退職金共済事業本部 高知県支部 088-822-6181



信号機のない横断歩道での歩行者優先等の推進

JAF(日本自動車連盟)が行った全国調査で、高知県は、信号機のない横断歩道で歩行者が渡るうとしている場面での運転者の一時停止率は42.2%で、全国35位という結果になりました(全国平均53.0%)。令和5年の一時停止率は35.3%より増加しましたが、未だ58%以上の運転者が一時停止をしていないという調査結果となっています。

■運転者の皆さんへ 十分な車間距離をとって、ゆとりある運転を心がけましょう。道路を横断中または、横断しようとしている歩行者がいれば、停止して待つなど歩行者保護の法令を再認識し、思いやりのある運転を心がけましょう。

■歩行者の皆さんへ 道路横断時は、信号または横断歩道がある所で、左右の安全をしっかりと確かめて渡りましょう。道路を横断する際は、手を挙げて横断する意思表示を運転者に知らせるようにしましょう。(南国警察署 香南警察庁舎 高齢者アドバイザー・岡崎由美 055-0110)

1月10日は『110の日』です！

110番は、事件・事故に遭った、あるいは見た、知った等を緊急に警察へ通報する『緊急電話』です。皆さんの生命、身体、財産を守るため、緊急の事件・事故に関する情報は、ためらわず積極的に通報してください。



また、携帯電話から110番を停止し、歩行中は立ち止まって通報してください。 110番のかけ方 次のことを落ち着いてゆっく

香南市のふたり

「ねえ、明日どこに行きたい？」 「明日は海の気分！」 そんな会話が出来るようになって1か月とちょっと。大阪から、学生時代の友だちが香南市に移住してきた。 人生という旅路を歩んでいる、時として道に迷ってしまう。そんな時期は、彼女と遠距離電話で高知の観光名所や美味しい食べ物なんかの話をして、よく気を紛らわしたものだ。



彼女の移住は、目的ではなく、「選択」であった。私自身も移住者なのだが、彼女のそれとはまったく違う。引越して少し経った彼女の中に今、どんな思いがあるのか聞いてみたくなった。 「移住してきて、どう？」 「昼間でも人が歩いていない！電車が1両しかない。野菜が美味しい！空の青さ！夜空の

星……私にとって、すべてが癒して新鮮。これが私の当たり前になっていくのかと思うと、なんだか不思議」 「人と自然がいろんなことに気付かせてくれる土地だからね、こは……」 もうひとつ、聞いてみた。

「私たち来年還暦だよ。移住するってよく決心したよね」 「だからこそだよ。残りの人生をどう生きるかの答えが、高知での生活だったんだよ」 「でもさあ、『移住』って、何かやりたいたいことを成しとげるといってイメージあるよね」 「そうだね。ただ私は、この何気ない日常に感動しながら日々を送る、という形もあっていい

いかなと思う」 彼女がそう話すのを聞いて、私は思った。離れた場所でもそれぞれの人生を歩んできたふたりを、まるで運命のように、海と山、広大なこの土地が、その大きな懐で包み込むように引き寄せてくれた。そんな風に感じられる。ならば、大切に生きよう。「香南市のふたり」の物語は、まだ始まったばかりなのだから……。」 T & K

市のうごき (R6.11.30現在) ()は昨年同月対比
■人口/32,634人 (男/15,887人 女/16,747人)
■世帯/15,566戸
■出生/16人 ■死亡/44人
■転入/86人 ■転出/49人
■対前月人口比/9人増
11月の火災・救急出動件数
■火災 2件(1件増)
■救急 150件(25件減)

※香南市にゆかりのある方に、「コラム」を書いてもらおうコーナーです